

## 鳥取県留学生交流推進会議

事業名	鳥取県智頭町の休耕田で世界の被災地を救うための支援活動～心の通う絆づくりのための支援体制整備～			
実施期間	平成26年5月～12月			
場 所	鳥取県留学生交流推進会議			
参加者	外国人留学生	学生	関係者	合計
	175名	45名	40名	260名

### ＜実施内容＞

- ①5月31日(土)智頭町「ケニアに送るお米の田植作業」に留学生21名及び日本人学生2名が参加
- ②9月21日(日)智頭町「ケニアに送るお米の収穫作業」に留学生20名及び日本人学生5名が参加
- ③10月24日(金)智頭町災害備蓄米缶詰作成作業に留学生30名及び日本人学生26名が参加
- ④11月21日(金)留学生を囲む集いに留学生84名、日本人学生12名及び教職員28名参加
- ⑤11月29日(土)～30日(日)「大山町平澤牧場農作業及び足立美術館見学」に留学生14名が参加
- ⑥12月7日(日)智頭町獣害対策作業に留学生6名が参加



智頭町ケニアに送るお米の田植え作業



智頭町ケニアに送るお米の稲刈り作業



智頭町災害備蓄米缶詰作成作業



留学生を囲む集い



大山町平澤牧場における農作業



智頭町における獣害対策農作業

## <参加者からのコメント>

薛鈺臻さん(台湾)/HSUEH YU-CHEN(Taiwan)

11月末冬の初め頃、やや寒く小雨の降っていた朝に私たち鳥取大学14人の留学生と1人の先生が島根の足立美術館と米子の大山平澤牧場に行きました。まず、私の印象的に残ったのが足立美術館にある様々な表現力豊かな近代日本画です。日本画は人間の情緒を自然風景に託し表わすことが特徴だとよくいられていますが、私は今回絵を見てこのように心が癒されたことを初めて体験しました。足立美術館を満喫してから、私たちは大山町の方に移動しました。バスが徐々に狭い道に走っていき、私はいったいどのような農家に一泊させていただくのかワクワクしていました。今回一泊二日の旅をして、美しい日本庭園で外国人に高い評価をされている足立美術館あるいは地元の方の暖かさをたっぷり体験できる大山平澤牧場、どちらも私の心を充実させてくれました。

ミルバ プリマ リスキさん(インドネシア)/Prima Rizky Mirelva(Indonesia)

I enjoyed both the Adachi Museum and Daisen field work. The Adachi Museum has very nice ambience and peaceful. The art galleries of Adachi Museum such as paintings and ceramics exhibition were showing the richness of Japanese traditional and also modern art. It is inspired me a lot. For the Daisen field work, the activities in here I think can be improved. The Daisen field work gave me the first experience such as slept in Tatami room, tried the kotatsu table, riding chibi motor-bike and tried living in the Japanese village. Thank you very much for these experiences.